

問題12 次の文章を読み、下の問い（問1～5）に答えよ。

文化によって、好まれる会話のスタイルは異なる。会話スタイルの違いは、異文化摩擦に発展することもあるため、スタイルの違いを知っておくことが必要である。日本語においては次のような会話が頻繁に見られるが、文化によっては心理的抵抗を感じる人もいるとの指摘がある。

<会話例>

X：最近、気候の変化が激しくて…。

Y：体がついていきかないですね。

X：体調崩している人、多いみたいですよ。

このようなスタイルが好まれるのは、日本が **(ア)** の社会であることとも関係している。日本語の会話においては、共有知識による察しが期待されており、相づちに代表されるような **A** 聞き手行動 が重要である。また、会話の進行をスムーズにするためには、聞き返しや **B** リペア も有効な手段となる。母語話者とのコミュニケーションにおいて、**C** 学習者が不利な評価を受けることのないよう、会話練習の際に留意して指導する必要がある。

問1 文章中の<会話例>の説明として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 「関連性の公理」に違反している。
- 2 「話者交替の規則」に違反している。
- 3 「共同発話」である。
- 4 「制度的談話」である。

問2 文章中の **(ア)** に入れるのに最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 高コンテキスト文化
- 2 罪の文化
- 3 低コンテキスト文化
- 4 恥の文化

問3 文章中の下線部A「聞き手行動」に含まれないものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 明確化要求
- 2 割り込み
- 3 ターンの保持
- 4 オーバーラップ

問4 文章中の下線部B「リペア」に関して、学習者によるリペアが含まれる会話の例として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 学習者：先週見ます。
母語話者：見ます？
学習者：あ、先週見ました。
- 2 学習者：あそこにあります。
母語話者：どこですか？
学習者：ほら、あそこ。
- 3 学習者：1階のギャラリーの所にいます。
母語話者：ギャラリー…？
学習者：ギャラリーです。
- 4 学習者：レポートは来週の月曜日に出します。
母語話者：月曜日？8日ですか？
学習者：8日です。

問5 文章中の下線部Cの例として **不適切なもの** を、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 接触場面でのモデル会話を提示し、学習者が聞き手の役割に徹して応答部分を繰り返し練習できるようにする。
- 2 発話意図を的確に伝えるため、「そうですか」などの表現の練習では、韻律による意味の違いを意識させるようにする。
- 3 話題への関心を伝えるため、「大変だね」「すごいですね」などの評価表現の使い方を積極的に練習できるようにする。
- 4 聞き取れなかったときの聞き返し方を練習する際に、「え？」と「は？」の与える印象の違いを意識させるようにする。

問題13 次の文章を読み、下の問い（問1～5）に答えよ。

阪神淡路大震災の教訓から、外国人に対する災害発生時の情報伝達を「やさしい日本語」で行う必要性が認識されるようになった。その取り組みの一つとして、弘前大学人文学部社会言語学研究室の「やさしい日本語」がある。同研究室の「増補版『やさしい日本語』を作るためのガイドライン」(2013)では、旧日本語能力試験3級程度の外国人を対象とし、災害時や緊急時に必要となる情報を「やさしい日本語」に言い換えるルールを示している。例えば、「警戒する」を「気をつける」に言い換えるなどである。

ただし、災害時によく使われる語は、言い換えずに、やさしい日本語を添えるとしている。また、言い換えだけでは問題解決には不十分なため、言い換えとともに付随情報も提供することが必要な語も紹介している。

一方で、緊急時支援における言語的問題は日本語母語話者間でも起こりうる。東日本大震災の際には、支援者が現地の方言が分からず医療活動に支障を来すという問題が生じた。この教訓を受け、(ア)の方言用例集が作成され、国立国語研究所のホームページで公開されている。

問1 文章中の下線部A「旧日本語能力試験3級」の出題基準で採用されていた語彙と漢字の数として最も適当な組み合わせを、次の1～4の中から一つ選べ。

	語彙	漢字
1	500語	100字
2	1,500語	300字
3	3,000語	600字
4	6,000語	1,000字

問2 文章中の下線部B「『やさしい日本語』に言い換えるルール」の例として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 「揺れる」ではなく、「揺れがある」を使う。
- 「使える」ではなく、「使うことができる」を使う。
- 「できる」ではなく、「できないことはない」を使う。
- 「注意してください」ではなく、「注意しましょう」を使う。

問3 次の〈例〉を書き換える場合、文章中の下線部Cに当てはまるものはどれか。最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

〈例〉

今朝、A県B市付近を中心に広い範囲で強い地震がありました。今後、大規模な余震が起きるおそれがありますので、警戒してください。

- 1 県/市
- 2 大規模な
- 3 余震
- 4 おそれ

問4 文章中の下線部Dの例として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 校庭
- 2 地割れ
- 3 消火器
- 4 給水

問5 文章中の(ア)に入れるのに最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 医者がよく使う学術用語
- 2 患者がよく使うオノマトペ
- 3 医者がよく使う禁止表現
- 4 患者がよく使う依頼表現

問題17

あなたはある教育機関で、大学進学を希望する学習者（中級以上）のクラスを担当しています。そのクラスで、協働で課題達成を行うことを目指し、あるテーマについて調べて発表するというグループ活動を取り入れることにしました。同僚とグループの構成方法について相談したところ、ある同僚は「学習者の日本語のレベルはなるべくそろえたほうがよい」と言い、またある同僚は「日本語のレベルは様々なほうがよい」と言っています。

あなたは、グループ活動における日本語能力差についてどう考えますか。またその考えを踏まえ、どのようにグループ構成をしますか。400字程度で記述してください。

このページには問題が印刷されていません。